

予算編成の透明度ランキング調査

1. 目的

財政民主主義にとって、国民・住民による予算のコントロールは中心をなす。しかし、従来、予算編成過程の透明度は低く、市民がこれに参加する道も極めて不十分だった。そのことが、一方にムダな支出を、他方に低い行政サービスを生んできたのではないか。これは、違法な支出・不正な支出の監視や是正とともに重要な課題である。

そこで、予算への市民参加の機会を高めることを目的として、本調査では、各自治体における予算編成過程の透明性と住民がこれに意見を述べる機会が保障されているかを調べ、評価・ランキングした。

2. 調査の対象と方法

各自治体の Web を閲覧し、これらの情報がどの程度 Web 上で明らかにされているかを基準としてチェック項目をもうけ、配点をし、100 点満点で採点した。

調査時期：2010 年 5 月～7 月上旬

ただし、Web への掲載時期については、各自治体へのアンケート調査（2010 年 7 月下旬～8 月上旬）に基づく

対象：47 都道府県と 18 政令市

3. 主な調査項目と配点

予算編成は、決算→政策評価→予算編成方針→予算要求→予算要求の査定→予算案の決定、という予算循環に基づいて行われていると考えられる。こうした予算循環の各プロセスにおける情報が公開され、予算編成過程に住民が参加できることを重視して調査・評価を行った。

個々の項目と配点の詳細は配点表をごらんいただきたい。

4. 調査結果（別表参照）

(1) 1 位 鳥取県、2 位 長野県、3 位 大阪府、最下位は岐阜県

全国オンブズマン大会開催地北陸は全般的に低位だった

(32 位 石川県、福井県、36 位 富山県)

(2) 予算編成過程の透明性—査定情報の公開が進んでいない

(3) 市民が予算案に意見を述べる機会を設けている自治体はまだ少ない

制度を設けている自治体は、3 県（長野県・鳥取県・大分県）と 3 市（札幌市・名古屋市・北九州市）。多くの自治体で制度化されることを求めたい。

(4) その他

Web に決算書や決算説明書、予算書、予算説明書すら掲載していない自治体が多いのは意外であった。早急な改善を求めたい。